



パレスチナ映画『採集する人々』上映会開催 ——東京外国語大学 TUFS Cinema が問いかける 「土地と人間の根源的なつながり」——

東京外国語大学（東京都府中市、学長：春名 展生）は、2025 年 10 月 25 日（土）に、パレスチナ映画『採集する人々（原題：Foragers）』の上映会を開催いたします。

本イベントは、東京外国語大学が主催する映画上映企画「TUFS Cinema」の一環として開催されます。映画を通じて世界の社会・歴史・文化への理解を深めることを目的とし、一般公開で実施しています。今回の上映会は、学内の研究ゼミや学生団体との連携により実施します。



上映作品のスチール写真

映画『採集する人々』とは

本作は、イスラエル占領下のパレスチナにおいて、自然保護を名目に規制されながらも野草採集を続ける人々の姿を描いたドキュメンタリー。ザアタルやアックーブといった野草をめぐる営みを通して、土地と暮らし、文化のつながりを問い直します。軽妙なユーモアと瞑想的なテンポで、占領者による文化の略奪に抗う人々の姿を描き出し、私たちに「生きること」の根源を静かに問いかけます。

なぜ東京外国語大学でこの映画を上映するのか

東京外国語大学は、多言語・多文化の共生を理念に掲げ、世界の複雑な現実に対して知的に、かつ共感的に向き合う場を提供してきました。本上映会は、国際社会の課題に対する理解を深めると同時に、映画という表現を通じて「声なき声」に耳を傾ける機会となります。学術と市民社会の接点としての大学の役割を体現するイベントです。

開催概要

日時：2025 年 10 月 25 日（土）15:00 上映開始

会場：東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール（東京都府中市朝日町 3-11-1）
プログラム：

- ・映画『採集する人々』本編上映（65 分）

- ・上映後解説／トーク（50 分）

遠藤 徹（本庄からパレスチナへの会）

黒木 英充（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授）

渡辺 晴海（東京外国語大学国際社会学部卒業生）

司会：大石 高典（東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授）

その他：入場無料、先着 501 名、事前登録制 <https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc251025form/>

<次ページへ続く>

<本件に関するお問い合わせ>東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



<続き>

共催： 東京外国語大学 TUFS Cinema、東京外国語大学国際社会学部大石高典ゼミ、
TUFS パレスチナ連帯活動、東京外国語大学フィールドサイエンスコモンズ (TUFiSCo)
協力： 本庄からパレスチナへの会、東京外国語大学多言語多文化共生センター

上映作品

『採集する人々 (原題 : Foragers)』

【あらすじ】 春は野草摘みの季節。家族や友人と野の恵みを拾い集め、分け合い、食卓を共にする。野草採集はパレスチナの人々の暮らしに息づく文化だ。イスラエル占領下、この伝統的な採集行為が違法化された。食卓に欠かせないタイムの一種「ザアタル」、野草の王様「アックーブ」。これらの野草は今や、イスラエル人たちの集団農場で栽培される商品となった。自然保護官が目を光らせる中、それでも採集者たちは野をめぐる。見つければ罰金、あるいは監獄。法廷では厳しい取り調べが待ち受けている…

【本作について】 人類にとって最も基本的かつ普遍的ななりわいのひとつである野生植物を採集して食する採集活動。イスラエル占領下で、採集を続けるパレスチナの人々。なぜイスラエル当局は、パレスチナの人々の伝統であるささやかな生業を「自然保護」を名目に執拗に規制しようとするのか。またその規制をすり抜けて、どのように人々は植物と付き合い続けているのか。ゴラン高原(イスラエル占領下シリア領)、ガリラヤ、エルサレムを舞台に、本作品はフィクション、ドキュメンタリー、アーカイブ映像を行き来しながら、占領者による文化の略奪に抗い、したたかに暮らしを紡ぐ人々の姿を軽妙なユーモアと瞑想的なテンポで描き出す。イスラエルによるパレスチナ人追放の歴史に連なる今日の紛争を日常生活の地平から捉え直すのみならず、土地と人間の根源的なつながりについて私たちの思考を促す。

(東京外国語大学 准教授 大石 高典 (専門：生態人類学、アフリカ地域研究、地球環境学))

【作品情報】

監督： ジュマーナ・マンナーア

受賞歴： ヴィジョン・デュ・ルール：ヨン国際ドキュメンタリー映画祭公式セレクション

2022年／パレスチナ／65分／アラビア語・ヘブライ語／日・英字幕／

原題 Foragers／日本語字幕 佐藤まな

TUFS Cinema Tokyo University of Foreign Studies **パレスチナ映画特集**

上映日時 2025年
10月25日
15:00上映開始 (開場14:40、終了予定17:10) 【土】

場所 **東京外国語大学**
アトラ・グロリーバレア・メテウス・ホール
(東京都府中市府中1-1-1、西武多摩川線・府中駅下車徒歩5分)

『採集する人々』には、イスラエル占領下で自然保護を名目に規制されながらも野草採集を続けるパレスチナの人々が登場します。

イスラエル／パレスチナ紛争の背景にある入植者植民地主義について理解を深め、土地と人間の根源的なつながりについて考えます。

・映画『採集する人々』本編上映(95分) 9時(10時)
・上映後解説／トーク(50分、うち10分質疑応答)
・上映後解説(本庄からパレスチナへの会)
・黒木 英花 (東京外国語大学 アフリカ・アフリカ言語文化研究科教授)
・渡辺 晴海 (東京外国語大学国際社会学部卒業生)
・司会 大石 高典 (東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 准教授)

共催 東京外国語大学TUFS Cinema
東京外国語大学国際社会学部大石高典ゼミ
TUFS/パレスチナ連帯活動
TUFSフィールドサイエンスコモンズ(TUFiSCo)
協力 本庄からパレスチナへの会
東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は
こちら
<https://tufs.ac.jp/event/foragers/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくスムーズにご入場いただけます。
定員を越える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

【問合せ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFSCinema@tufs.ac.jp)
TEL 042-330-5441
#9999-1769 (12時~18時)
Email tufscinematufs.ac.jp

詳細はTUFS Cinemaウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>

本上映会のチラシ (表面)